

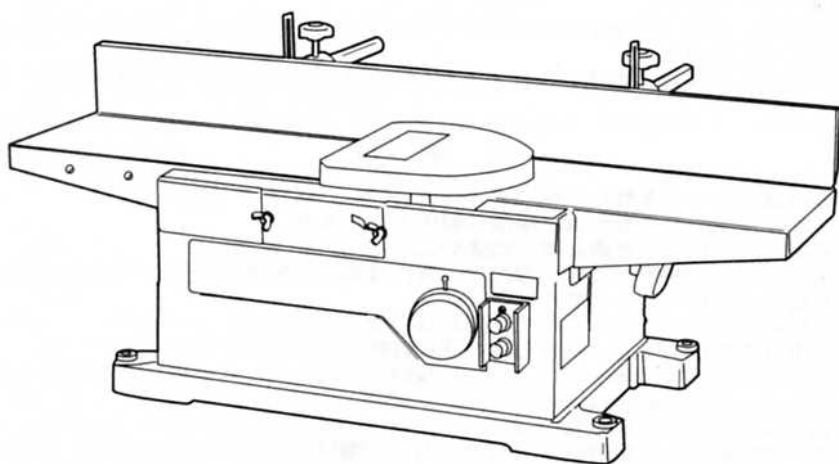
RYOBI®

小型手押カンナ

HL-6

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～3
- ・各部の名称 4
- ・仕様・付属品・別販売品 4
- ・操作方法 5～9
- ・保守と点検 10

□ 二重絶縁

6983679 (M)

このたびは、リョービ小型手押カンナをお買上げいただきありがとうございます。安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれの意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・転倒事故を防止する為、機械周辺の床には物を置かないでください。
 - ・機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行わないでください。
 - ・電源の誤配線による重傷事故を避ける為、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 無理して使用せず作業に合った機械を使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・手袋は刃物の交換の際に使用する以外は回転部に巻込まれる恐れがありますので絶対に使用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

7. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
8. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはヨーロッパ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
 - ・機械の可動部分との接触による重傷事故を避ける為に、部品交換の際には機械のスイッチを切り、電源プラグを外してください。
11. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または保守、点検、修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・機械の故障、異常に対処する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
12. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
13. 不意な始動は避けてください。
 - ・プラグを電源に接続する前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
14. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはヨーロッパ販売営業所で修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはヨーロッパ販売営業所で修理を行なってください。スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は、使用しないでください。
16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびヨーロッパパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

△ 警告

17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

小型手押カンナご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、小型手押カンナをご使用の際には、さらにつきに述べる注意事項を守ってください。

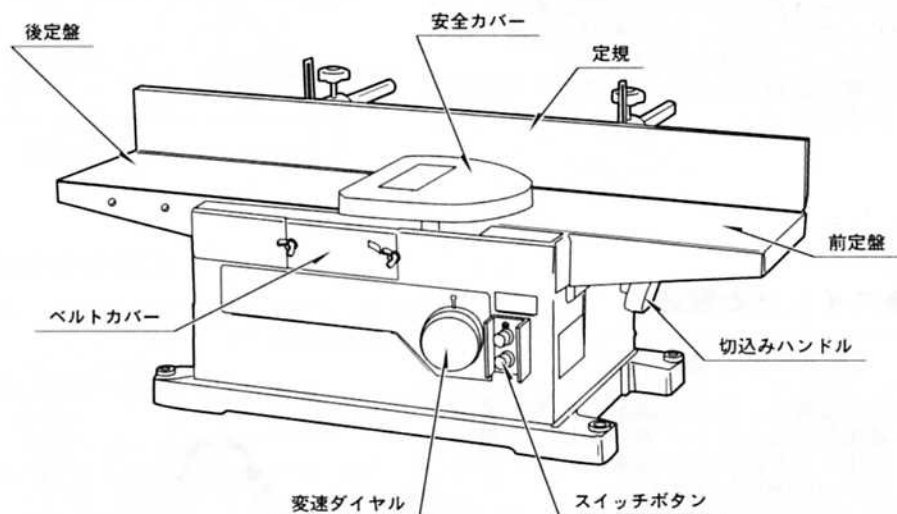
△ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 運転中は、カンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 切屑排出口には絶対に指などを入れないように注意してください。
 - ・カンナ刃が高速回転していますので、けがの原因となります。
4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って、使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 材料が長い場合や重い場合には、補助ローラーなどを使用してください。
 - ・材料、機械が不安定になり、けがの原因になります。
6. 小さい材料を加工する場合、プッシュブロック（取扱説明書参照）を使用してください。
 - ・無理に小さい材料を手で加工しますと、けがの原因になります。

△ 注意

1. 刃物類（カンナ刃など）や付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、カンナ刃が破損したり外れたりし、けがの原因になります。
2. 作業中は軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、機械を空転させ、機体の振動などの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるまま使用しますと、けがの原因となります。
4. カンナ刃の取付け、取外しなどカンナ刃の取扱いの時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意してください。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・異物があるとカンナ刃を破損することがあり、けがの原因になります。

■各部の名称



■仕様

- 電源…………… 単相・交流100 V 50/60Hz
- 電流…………… 13 A
- 消費電力…………… 1200 W
- 無負荷回転数…… 8000~16000R.P.M.
- 最大切削幅…………… 155 mm
- 最大切込み深さ…………… 2.5 mm
- コード長さ…………… 4 m
- 機体寸法
…… (長さ)710×(幅)302×(高さ)260 mm
- 本体重量…………… 13 kg
- 絶縁方法…………… 二重絶縁

■通常付属品

- 刃先調節ゲージ
- ボックススパナ
- ⊕ドライバー No.2

■別販売品

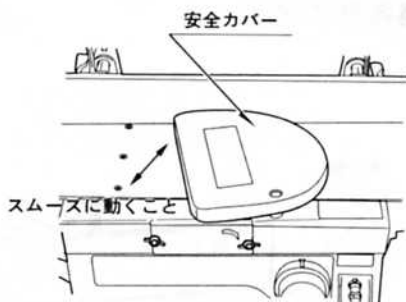
- 補助ローラーセット
- ホースアダプター (φ38用)
- プッシュブロック

■操作方法

●安全カバーについて

●安全カバーは事故防止の為、必ず機械に取付けた状態でご使用ください。また、安全カバーは常にスムーズに作動するように保ち、変形したり、カンナ刃に接触しないようにしてご使用ください。

(労働安全衛生法により義務づけられています。)



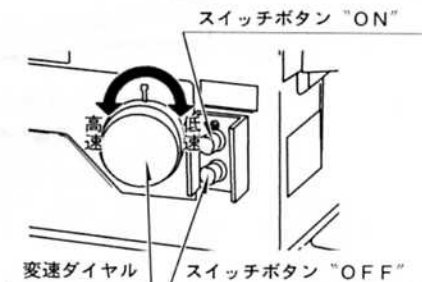
●スイッチと変速

△ 警告

・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- スイッチボタン“ON”を押せば入り、“OFF”で切れます。
- 変速ダイヤルを回すことにより、カンナ刃の回転数を8000 R. P. M. (ダイヤルA)～16000 R. P. M. (ダイヤルE)の範囲で無段階に調節できます。回転数を低くすることで静かな作業ができます。

(注) 幅広材を低速で切削しますと、トルク不足によりカッターブロックがロックする事があります。表1を参考に回転数を決めてください。切削時の回転数が落ちスムーズな作業ができない場合は、回転数を上げるか、切込み深さを少なくしてください。



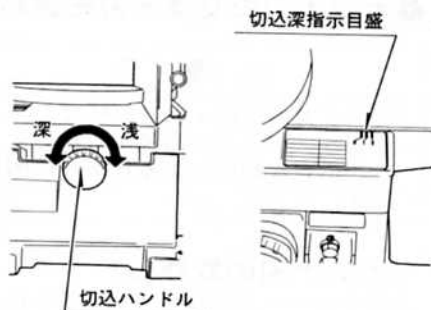
(表1) 切削幅とダイヤル位置

切削幅	ダイヤル位置	切削幅	ダイヤル位置
～40mm	A～B	80～100mm	D～E
40～60mm	B～C	100～155mm	E
60～80mm	C～D		

(注) この表は切込み深さ1mmの時の最低回転数(スムーズに切削できる回転数)を表わしていますが、材料の硬軟、切込み深さの大小により最低回転数は変動しますので、参考値としてください。

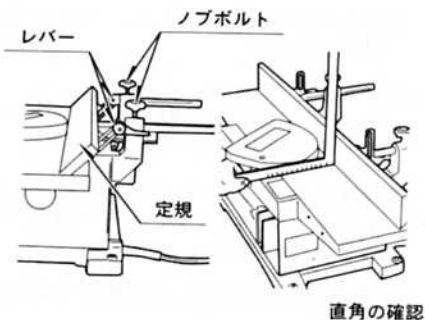
●切込み深さの調節

- 前定盤下側の切込ハンドルを回すことにより、切込深さは0～2.5mmの範囲で調節することができます。切込み深さは定盤横の指示目盛で確認してください。



●定規の調節

- 定規の傾斜調節は2ヶ所のレバーをゆるめて、お望みの角度に定規を調節後、レバーを締付けます。
- 定規の位置調節は2ヶ所のノブボルトをゆるめて、お望みの位置に調節後、ノブボルトを締付けます。
- 出荷時、定規は倒した状態で梱包しております。ご使用になる前に必要な角度に調節してください。



●カンナ刃の交換と刃先調節

△ 警告

・カンナ刃の交換・調節の時は、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

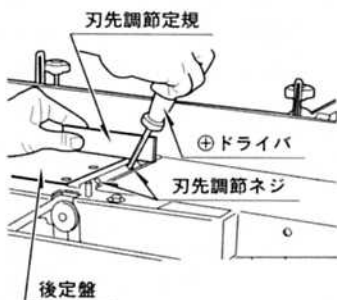
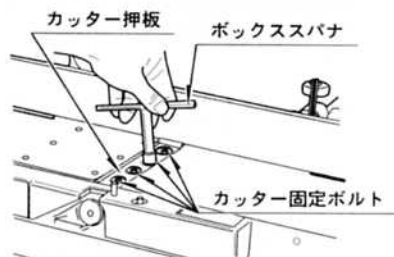
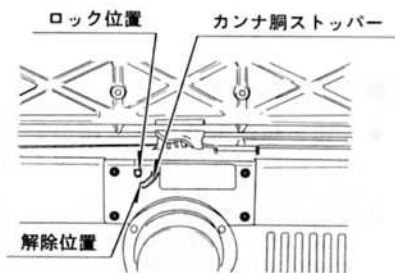
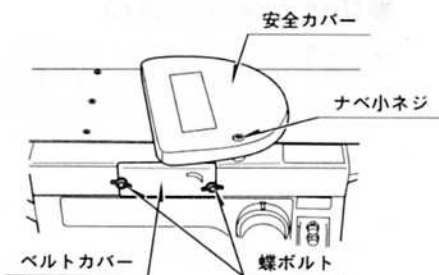
(カンナ刃の取外し)

- ①安全カバー上部のナベ小ネジを抜き、安全カバーを上方に外します。
(市販の⊕ドライバーNo.3をご使用ください。)
- ②2本の蝶ボルトを外し、ベルトカバーを取外します。
- ③ベルトを手でゆっくり回し、カンナ胴ストッパーでカンナ胴を、カッター固定ボルトを真上にしてロックします。
- ④付属品のボックススパナで、カッター固定ボルトを外し、カッター押板・カンナ刃を取外します。
- ⑤反対側のカンナ刃も同じ要領で取外します。

●カンナ刃の取付けは、取外しと逆の手順で行なってください。

(カッター刃先調節)

- ①カッター固定ボルトをゆるめた状態でカッター刃先を上向き位置で、カンナ胴ストッパーにより、カンナ胴をロックします。
- ②刃先調節定期を後定盤よりカッター刃先に当てがい、付属品の⊕ドライバーNo.2で刃先調節ネジを回して、刃先高さが後定盤と同じになるように調節します。
(カンナ刃の両端で確認してください。)
- ③刃先調節が終わりましたら、カンナ胴ストッパーをセットし直し、カッター固定ボルトをしっかり締付けます。
- ④反対側のカンナ刃も同じ要領で刃先調節をします。
- ⑤カンナ胴ストッパーを解除し、安全カバー、ベルトカバーを取付けます。

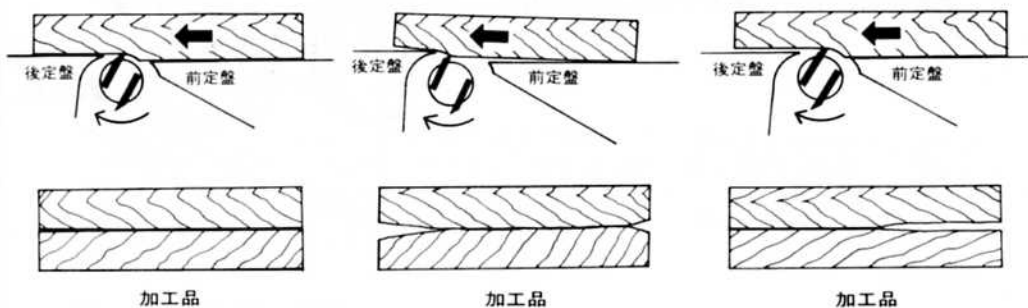


●刃先高さと後定盤の関係

●正しい場合

●後定盤よりカンナ刃が低い場合

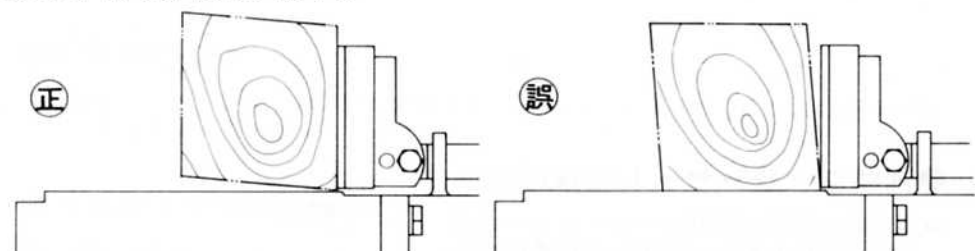
●後定盤よりカンナ刃が高い場合



※加工品は2つの木を削り合わせたものです。

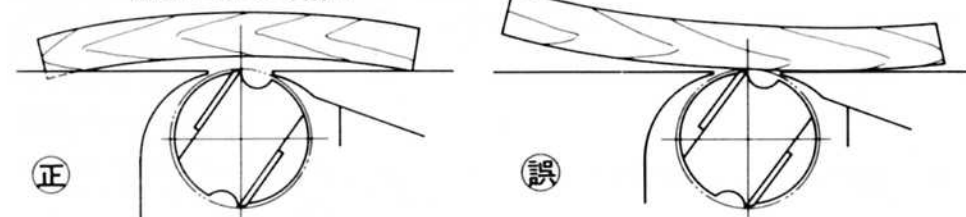
●手押カンナでの削り方

●正しい削り方と悪い削り方



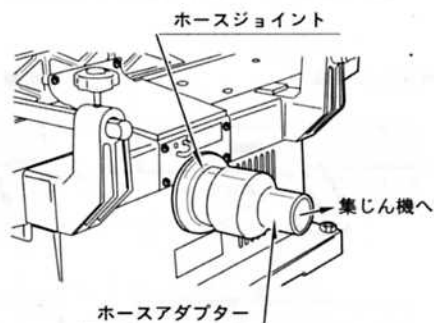
●弓形に反った材料

凸部を上にして削る



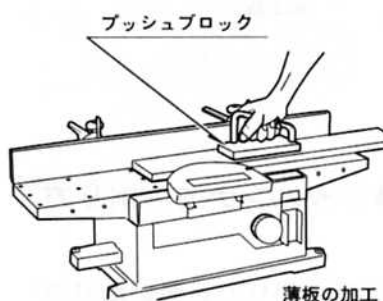
●ホースジョイント

- ホースジョイントに集じん機のホースを接続して、カンナ屑を集じんしながらの作業ができます。ホース径 $\phi 38$ の場合は別販売品のホースアダプターをご使用ください。



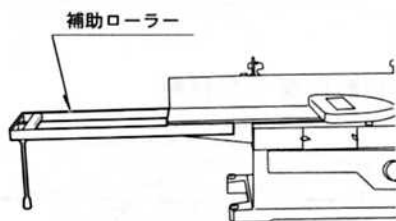
●プッシュブロックについて (別販売品)

- 薄い材料を切削する場合は、別販売品のプッシュブロックをご使用になりますと、安全な作業ができます。



●補助ローラーセット(別販売品)

- 長尺材の切削に補助ローラーセットをご利用になりますと、安定した作業ができます。



●保守と点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切りプラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●刃物について

- 切れ味が悪くなったカンナ刃をそのままご使用になりますと、モーター、その他に無理がかかり、能率も落ちますので、早めに研磨するか、新品と交換してください。カンナ刃を交換する場合は2枚1組単位で交換してください。何度も研磨したカンナ刃と新品のカンナ刃を1組にして使用しますとバランスが悪くなり、振動が出たり、機械の寿命を低下させます。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。
- 各部を清掃してください。特にカバー内側等切削屑が溜まりやすい部分はエアダスタ等で清掃するようにしてください。また各摺動部には時々注油をしてください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れがあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- 本機には消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシが短くなった場合には交換が必要です。総使用時間が約80時間程度になられましたら、定期点検をお買上げ販売店に依頼されることをおすすめします。
- 短くなったカーボンブラシをそのまま使用されますと、モーター焼けの原因になります。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社